

## 事務事業評価表（公共施設）

評価対象年度	平成 25 年度
1次評価日（主幹等）	26年 3月 31日
2次評価日（課長等）	26年 月 日

1 事業名	ララオカヤ施設管理事業			コード	21206	
2 担当部課	部等	経済部	課等	商業観光課	作成者	佐藤 嘉泰
3 事業概要	目的体系	基本目標	魅力と活力にあふれる、にぎわいのあるまち			
		政策	産業の振興	施策	商業の振興	
		予算科目	岡谷駅前再開発ビル管理事業費	業務委託	なし（直営）	
		実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし	
		設置条例	岡谷市ララチャレンジ広場設置要綱			

## ●事業の内容（D0）

4 施設の概要・設置目的	*対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）	
施設の概要（簡潔に）	ララオカヤの施設の維持管理	
目的	対象者	施設利用者
	意図	利用者が安全・快適に施設を利用できるよう適切な維持管理を行う。

5 施設の管理運営状況	
指定管理者	— 25年度指定管理料 円
施設における通常業務	ララオカヤ管理組合事務局業務、賃貸借業務
事業の実施内容	(25年度に施設で行った運営事業・自主事業など) 施設維持管理業務（管理組合事務局） チャレンジ広場の管理運営をNPO法人維新塾へ委託 チャレンジ広場（レンタルボックス、イベント広場）活用の推進 テナント使用料、チャレンジ広場使用料等の徴収
前年度の課題への対応	なし

6 施設の利用状況	*②・③はどちらかの欄に記入			
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 施設稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	
年間開設日数（日）	357	353	353	353
1日の開設時間（時間）	9	9	9	9
年間利用可能時間（時間）	3,213	3,177	3,177	3,177
年間利用実績（時間）	3,213	3,177	3,177	
② 年間利用者数（人）	0	0	0	0
有料利用者数				
無料利用者数				
減免措置者数				
③ 年間利用件数（件）	1,873	1,896	1,851	1,820
有料利用件数	1,855	1,841	1,829	1,800
無料利用件数	0	0	2	0
減免措置件数	18	55	20	20
④ 1日あたり利用者数、件数	5.2	5.4	5.2	5.2
⑤ 施設利用状況の説明	年間利用件数は、チャレンジ広場（レンタルボックスとイベント広場）利用件数			

## 7 コストの推移

\* この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）

[単位：円]

区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
① 直接事業費	50,740,149	54,914,179	58,755,626	60,047,000
経常経費	50,740,149	52,399,681	54,818,126	60,047,000
臨時的経費	0	2,514,498	3,937,500	0
* 臨時的経費の説明	1階イベント広場に空調機2基を設置			
区分	23年度	24年度	25年度	26年度(予算)
② 人件費	6,080,000	6,080,000	6,080,000	6,080,000
正規職員の人数(人)	0.76	0.76	0.76	0.76
③ 合計コスト(①+②)	56,820,149	60,994,179	64,835,626	66,127,000
前年度比		107.3%	106.3%	102.0%
財源内訳				
一般財源	48,234,657	50,175,713	55,274,739	50,673,000
特定財源	8,585,492	10,818,466	9,560,887	15,454,000
* 特定財源の説明	チャレンジ広場賃貸料収入及び実費徴収金			
④ 施設使用料年間収入額	4,346,561	4,103,760	4,949,772	7,742,220
⑤ 年間減免措置額	172,890	88,890	113,250	100,000
⑥ 受益者負担割合	8.9%	7.6%	8.6%	13.1%
⑦ 活動一単位あたりコスト	30,336	30,844	32,900	
前年度比		101.7%	106.7%	
⑧ コストに関する補足説明	-			

## ●事業の評価(CHECK)

8 妥当性評価	* 妥当性=行政がこの事業を行う必要性はあるか。	妥当性	低い
評価項目		はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与すべき重要な分野である。			0
② 民間(企業、NPO、市民団体等)へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。			0
③ 民間(企業、NPO、市民団体等)が行うサービスと類似・競合していない。			0
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。		1	
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。			0

9 有効性評価	* 有効性=施設の利用状況(項目6/住民の満足度)は向上しているか。	有効性	低い
評価項目		はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。			0
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、事業の内容に反映している。			0
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。			0
④ 施設の利用者が増加した。	1日あたり利用者数、件数 前年度比 97.6%		0
⑤ 施設使用料収入が増加した。	施設使用料年間収入額 前年度比 120.6%	1	

## ●改善の内容(ACTION)

10 具体的な課題と改善	
課題	(施設の有効活用、施設サービスの向上、利用状況の向上を図る上で、現在課題になっていること) 施設及び設備の老朽化が進んでいる。
改善方法	(上記の課題をふまえて26年度以降に実施する、具体的な改善の内容) 施設の整備等は費用が掛かるため、平成26年7月から地権者宅を訪問し意見を徴収する。
改善開始時期	平成26年7月から

●次年度の計画 (PLAN)

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による26年度の優先度 *H24年度施策評価表より転記すること	B
13 大規模修繕の予定			
	予定事業費	円	予定時期
内容	特になし		

## 施設の維持管理コスト計算シート

事業名	21206	ララオカヤ施設管理事業
-----	-------	-------------

## 1 施設の維持管理にかかる直接事業費 単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計	内訳
需用費	394,543		394,543	消耗品
役務費	54,007		54,007	火災保険料
委託料	9,030,000		9,030,000	
使用料及び賃借料	50,400		50,400	
工事請負費		3,937,500	3,937,500	空調設備工事
負担金補助及び交付金	45,289,176		45,289,176	
			0	
			0	
			0	
合計	54,818,126	3,937,500	58,755,626	

## 2 施設の維持管理にかかる人件費 単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計
正規職員の人数	0.76		0.76
合計	6,080,000	0	6,080,000

人  
円

## 3 特定収入 単位：円

項目	経常収入	臨時収入	合計	内訳
財産使用料	4,949,772		4,949,772	
テナント実費徴収金	4,611,115		4,611,115	
			0	
			0	
			0	
合計	9,560,887	0	9,560,887	

## 4 一般財源 単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計
合計	51,337,239	3,937,500	55,274,739

## 施設の運営コスト計算シート

事業名	21206	ララオカヤ施設管理事業
-----	-------	-------------

## 1 施設の運営にかかる直接事業費 単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計	内訳
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
合計	0	0	0	

## 2 施設の運営にかかる人件費 単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計
正規職員の人数			0.00
合計	0	0	0

人  
円

## 3 特定収入 単位：円

項目	経常収入	臨時収入	合計	内訳
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
合計	0	0	0	

## 4 一般財源 単位：円

項目	経常経費	臨時的経費	合計
合計	0	0	0